

不在

帰る 帰ってみる

みてもいない

あの人がいらない

気配は残っている

思い描くこともできる

こんなにもありありと

あの人がいいた時の家の空気が

空につながれて

あの方は今 病院にいるけれども

あの人がいいた家

あの方がただ座って 食べて 寝て 歩いただけの

家が、このからだだからあふれでてきそうな六月の梅雨空

涙のような雨粒が落ちてきて

紫陽花の重たげな花が

まるで生きている人のような匂いを

かすかに発している

おお、不在……うごめく気配は

わたしの中に宿ったあの方の灯

あの人自身の生命の火であり影

包まれ、つながれ、匂う炎となり

包む、つなげる、空身となる